

栃木県指定
無形民俗文化財

弥生祭

平成22年
4月13日、17日

この弥生祭は、昔から「こた祭り」とも呼ばれ、いすれも古いしきたりを重んじ、格式通りに万事を進める祭です。

そのため、ひとつまちがうと町内単位のもので「どた」トラブルになるため、大老から若者まで全神経を働かせますが、何か支障があった場合は、祭の進行がストップし、予定時間通りにならないこともあります。

●弥生祭付祭の見所と予定時間

日光に香を告げる弥生祭の家体が、4月16日と17日に、西町5台、東町8台の合計13台が繰り出されます。
日光二荒山神社例祭である弥生祭は、古くは3月に行われ、3月を弥生といったところから「弥生祭」の名があります。
神社祭典は4月13日から17日まで行われ、大祭当日の17日に付祭として、東西13か町から家体が繰り出されるものです。30数年前、観光協会主催で16日に前夜祭が行われるようになってから、家体が16日と17日の2日間繰り出されるようになりました。
この弥生祭は、古き良き1200有余年の伝統を残しながらも、時代の要請に合わせて、幾つかの改革がなされ現在に至っています。皆さん、ぜひお祭りに参加、見学して、十分に弥生祭の素晴らしさを満喫してください。
弥生祭付祭の主な内容と時間は、おおむね裏面のとおりですが、時間等に変更があった場合はご了承ください。

弥生祭完全動画配信
計12台のライブカメラで祭の様子を動画配信
<http://nikko.futarasan.jp>
携帯専用 <http://nikko.futarasan.jp/i>

下野国一之宮 二荒山神社 (世界遺産)
弥生祭日程 四月十三日(火)～十七日(土)

◆神輿飾祭

本社・滝尾・本宮の三社の神輿を本社拝殿にお飾りする祭り。
十三日 午後一時 本社拝殿

◆滝尾神社神輿渡御祭・酒迎式

滝尾の神輿一基が滝尾神社に還る祭り。
途中東照宮表門前にて神輿をお飾りし、東照宮神職により御神酒等をお供えし拝礼する。
十四日 午後一時 本社・滝尾神社
酒迎式(東照宮表門前)

◆氏子大祭

氏子会長以下世話人・頭役参列のもと、氏子の皆様の安全を祈願する祭典。
十五日 午前十時

◆滝尾神社神輿還御祭・高天原神事

滝尾神社より神輿が還る。本社神苑の高天原斎場にて本社ならびに本宮の二基の神輿がこれをお迎える神事。
十六日 午前九時 本社・滝尾神社
午前九時三十分 高天原神事(本社高天原)

◆宵まつり(各町家体繰出し)

十六日 午後二時三十分 東西全町家体が神橋に集合。
午後二時四十分 宵まつりセレモニー
午後三時二十分 登橋神事(手打ち式)
東西各町お囃子披露会

◆例大祭(各町家体繰出し)

十七日 午前十時 例大祭
午前十一時頃 全町家体社頭繰込み
午後十二時三十分 三神輿本宮神社渡御祭
午後二時三十分頃 神明廻り
午後三時三十分頃 拝殿前手打ち

◆奉納行事

十七日 東西両町家体献備
奉納 余興 (開演午後十一時三十分)
あいさつ 二荒山神社氏子会長
出演者
日本舞踊 花柳流 亜紀の会
花柳喜乃亜紀 花柳紀乃葉月 西嶋文花
高瀬樹 狐塚奈雨 狐塚太希 菊池加那子
吉住小与ひで 吉住小しな 望月太喜恵

◆献菓

日光二荒山神社菓匠会・栃木県菓子工業組合
◎抹茶接待(日光 三荒霊泉あずまや)
◎日光和敬会
◎地酒奉納 栃木県酒造組合

◆献菓祈菓業祭

県内菓子業者が弥生祭に先だって各銘菓をお供えし商売の繁昌を祈る祭り
十二日 午後三時三十分 本社拝殿

◆二家体展示(鈴木和明氏製作)

日光二荒山神社氏子会
協賛(社)日光観光協会